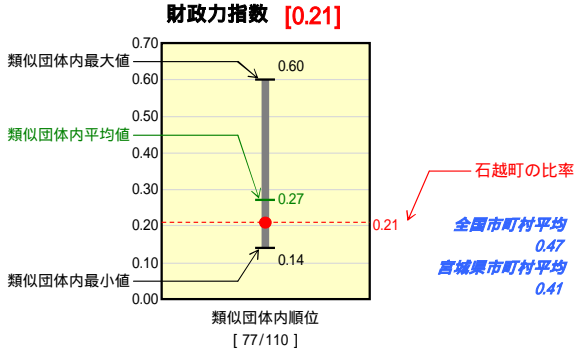


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

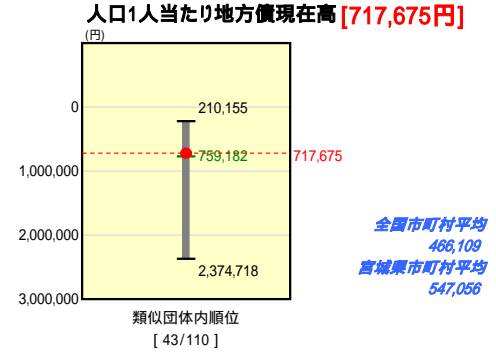
宮城県 石越町

人口	6,030人(H17.3.31現在)
面積	24.87 km ²
歳入総額	3,368,590千円
歳出総額	3,367,889千円
実質収支	701千円

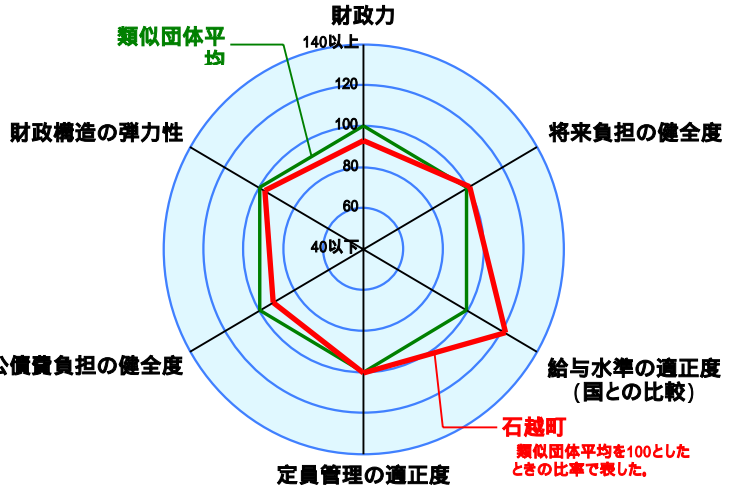
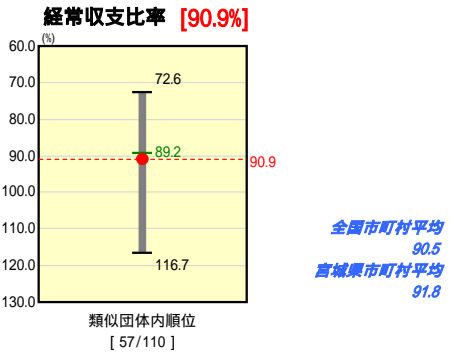
財政力



将来負担の健全度

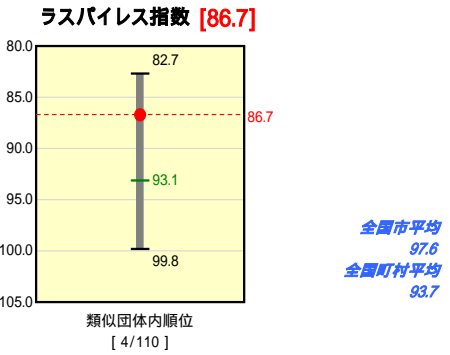


財政構造の弾力性

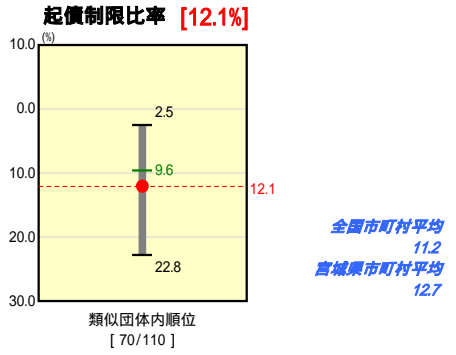


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

財政力指数
・人口の減少、高齢化に加え、町内に中心となる産業がないことなどにより、財政基盤が弱く類似団体平均を0.06ポイントほど下回っている。行財政の効率化を図り財政の健全化に努める。

経常収支比率
・平成17年4月1日合併に伴う打ち切り決算により、本来、出納整理期間中に収入すべき歳入が新市の歳入となったことによる。通常年であれば、86.7%程度が見込まれるが、年々上昇の傾向にある。

起債制限比率
・普通建設事業費に係る地方債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を2.5ポイントほど上回っている。償還のピークはH19となっている。

人口1人当たり地方債現在高
・平成16年度に実施した公民館災害復旧事業、平成15年度に実施した小学校体育館建設事業等があったが、類似団体平均を若干下回っている。

ラスパイレズ指数
・類似団体中で最低水準にあり、平均よりも6.4ポイントも下回っている。人件費の縮減を図るため各種手当の廃止、縮減、課の統廃合による管理職の削減等に努めている。

人口1,000人当たり職員数
・行政改革の取り組みによる新規採用抑制策等により、ほぼ類似団体平均並みとなっている。

平成17年4月1日、合併により「登米市」となる

定員管理の適正度

